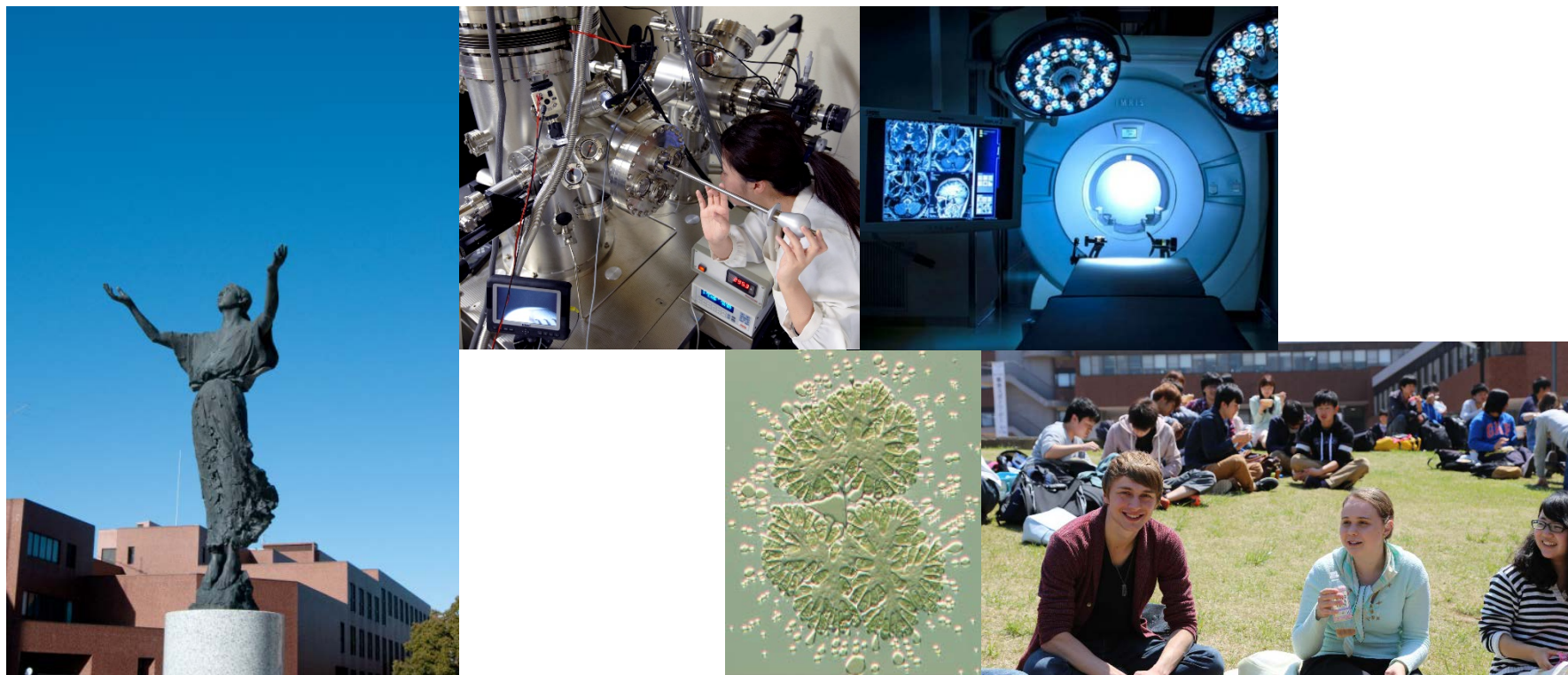




筑波大学における 外国人研究者の受入れ環境等

木越 英夫 副学長・理事(研究担当)

平成30年10月25日

Contents

1. 筑波大学の地理的環境
2. 筑波大学における国際戦略基本方針
3. 外国人研究者の受入れ状況
4. 支援体制と取組

Where is Tsukuba?

45 minutes from Tokyo

1 hour from Narita International Airport



1. 筑波大学の地理的環境②

筑波研究学園都市

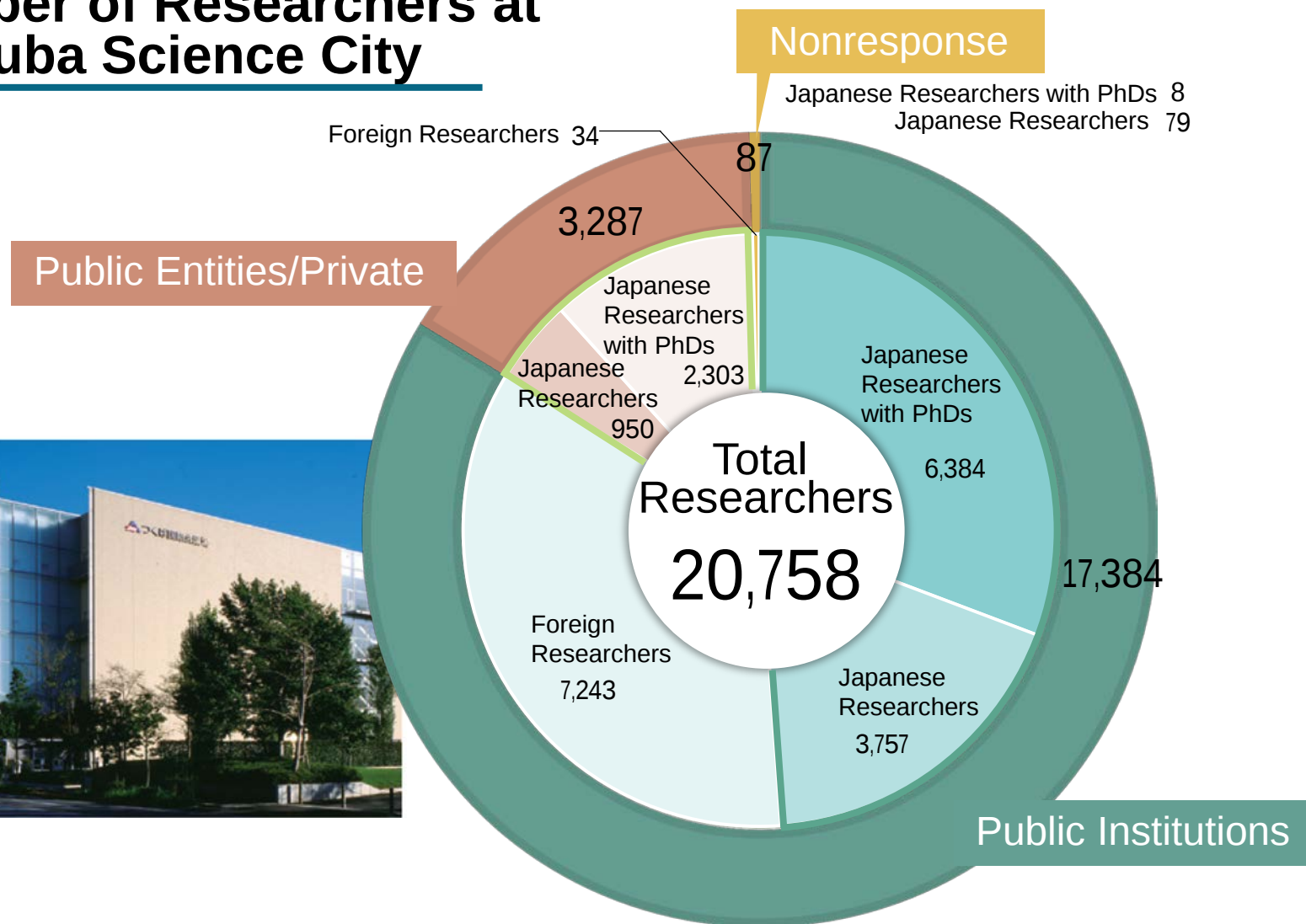
29 National Institutions,
Total Area is 28,400ha

 Tsukuba City



Tsukuba Science City

Number of Researchers at Tsukuba Science City



Source: 2017 Survey Overview of Institutes Located in Tsukuba Science City

Source: 2017 Survey of Foreign Researchers in Tsukuba Science City

国際戦略基本方針2018

目標1

ワールドクラスの大学にふさわしく、大学のグローバル競争力を強化する。

目標2

国際的互換性のある教育を実施する体制を確立し、地球規模で活躍できる高度人材を育成する。

目標3

「世界に開かれた大学」として、広く全世界から優秀な学生を集める。

目標4

幅広い学問分野において、真理を深く探求する研究と、研究成果の社会還元を目指す研究の両面において、世界トップレベルの最先端研究を展開する。

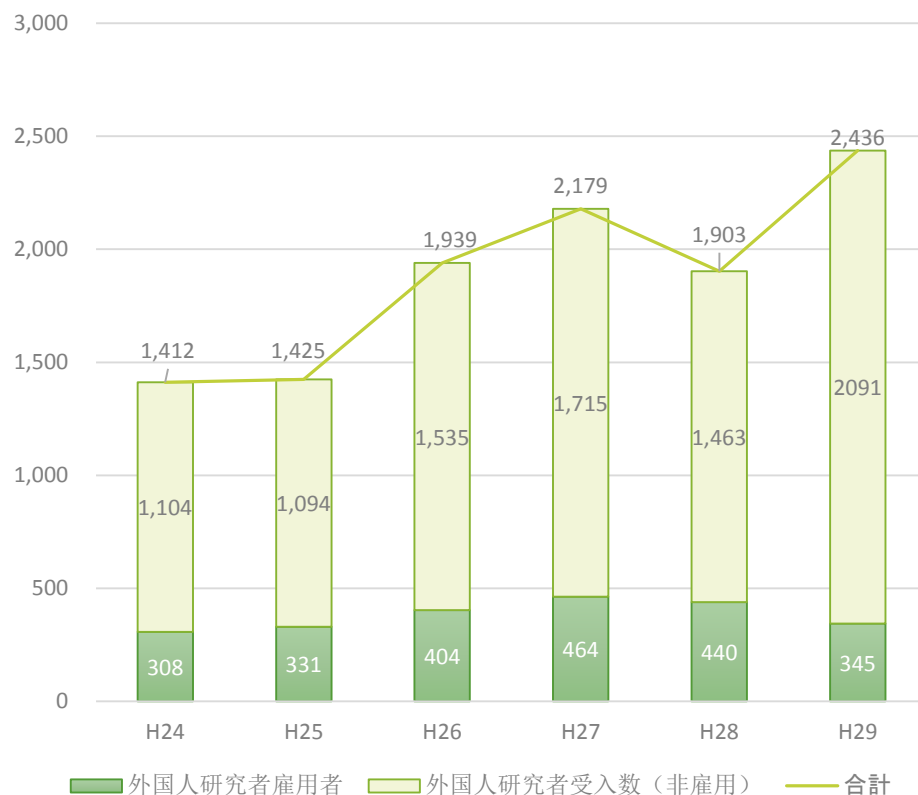
目標5

グローバル社会に向けた教育研究成果の積極的な発信及び大学の運営状況等についての戦略的な情報提供を推進し、本学のグローバルプレゼンスを高める。

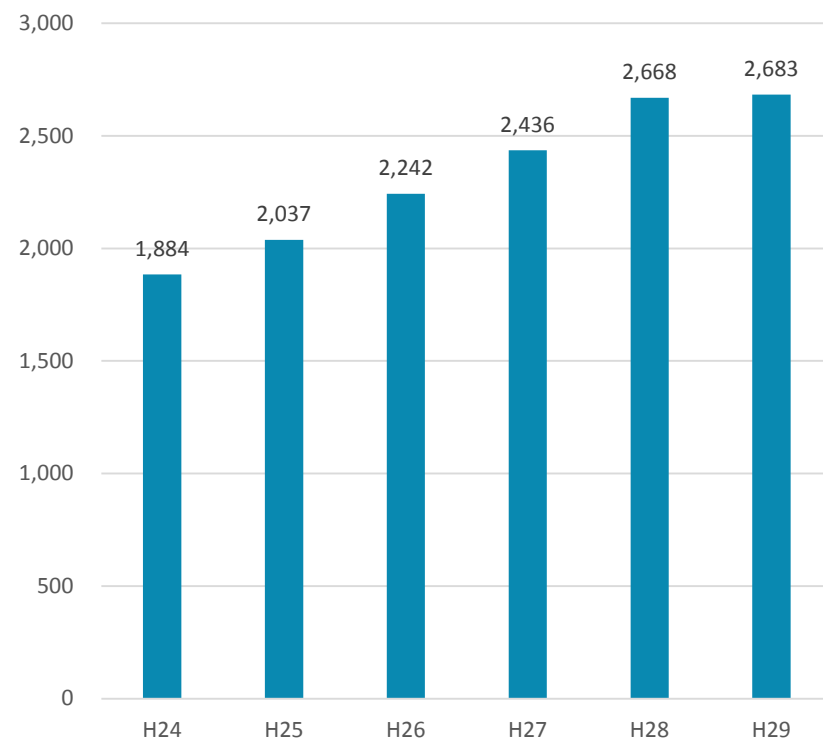
目標6

筑波研究学園都市の中核機関として、本学及び筑波研究学園都市全体のグローバル化を牽引し、そのグローバルプレゼンスを高める。

外国人研究者受入数

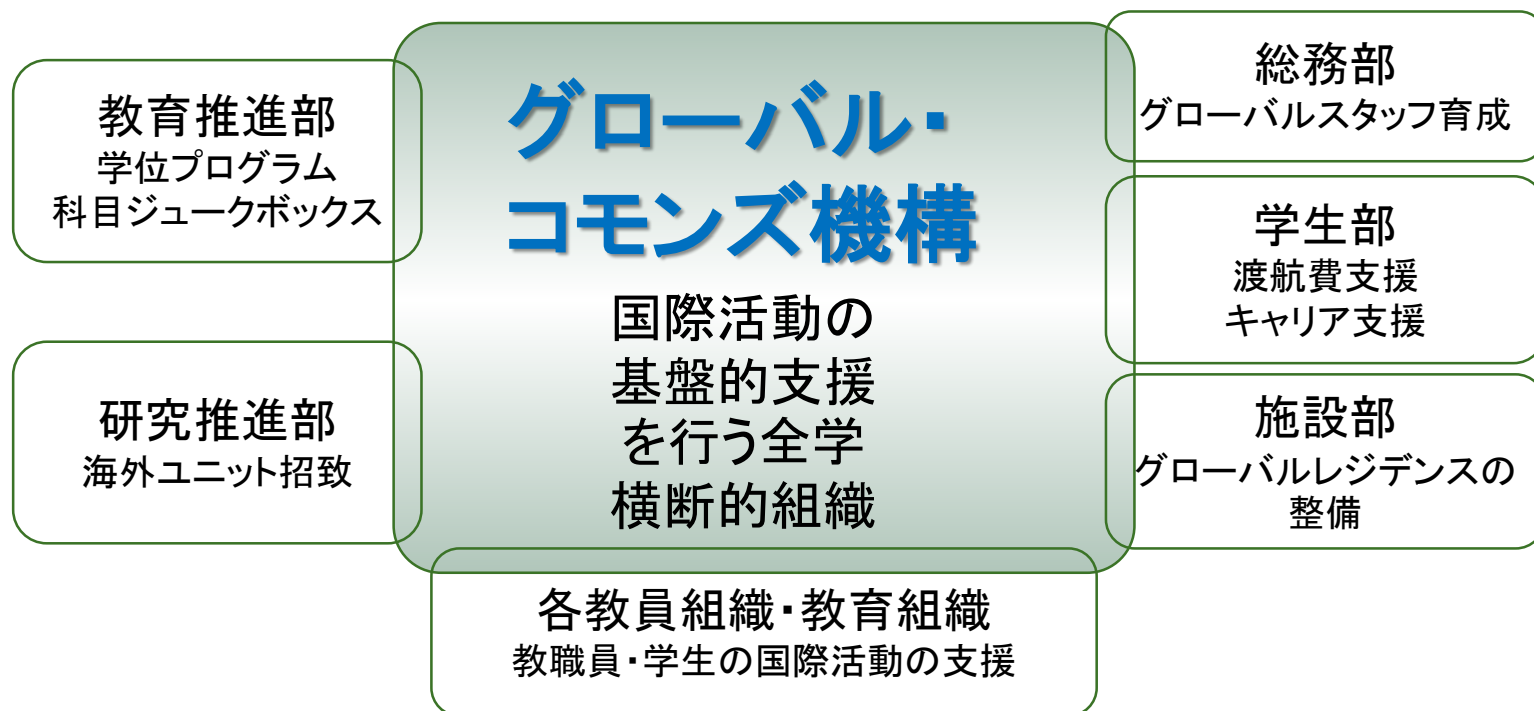


外国人留学生



国際性が日常化したキャンパスの実現と教育研究活動、さらに教職員の国際化を推進するとともに、昨今の国際情勢を踏まえた海外危機管理に係る情報収集体制を整備。

グローバル・コモンズ機構の設置(H25.4.1)



グローバル・コモンズ機構による外国人研究者等の支援

- (1) 在留資格認定証明書交付代理申請
 - ・ 外国人教職員等及びその家族に係る在留資格認定証明書交付を代理申請し、入国ビザ取得を支援。
 - ・ 日本滞在中の出入国管理関係手続き等の支援
 - ・ 海外渡航に伴う訪問国ビザ取得支援
- (2) 外国人研究者とその家族、留学生の家族の生活支援相談業務
- (3) 国内外の機関（大学、研究所、市役所等）及び個人からの国際交流業務、外国人教職員・研究者の受入体制、出入国関係業務に関する問合せ対応
- (4) 外国人教職員、研究者、留学生及びその家族の相互交流促進と日本文化の紹介のため、生け花体験を開催
- (5) 国際交流ボランティア団体「虹の会」が行う日本語講習を支援
- (6) 外国人研究者のためのハンドブック作成、更新



<外国人研究者等を対象とした異文化交流会を開催>
(2018/1/26)

グローバル化の推進

1. 筑波研究学園都市全体のグローバル化の牽引

- 「つくばグローバルサイエンスウィーク(TGSW)」の開催により多様な交流・研究成果等の発信を促進
- TGSWの実績を踏まえた「筑波会議(若手版ダボス会議)」構想の推進

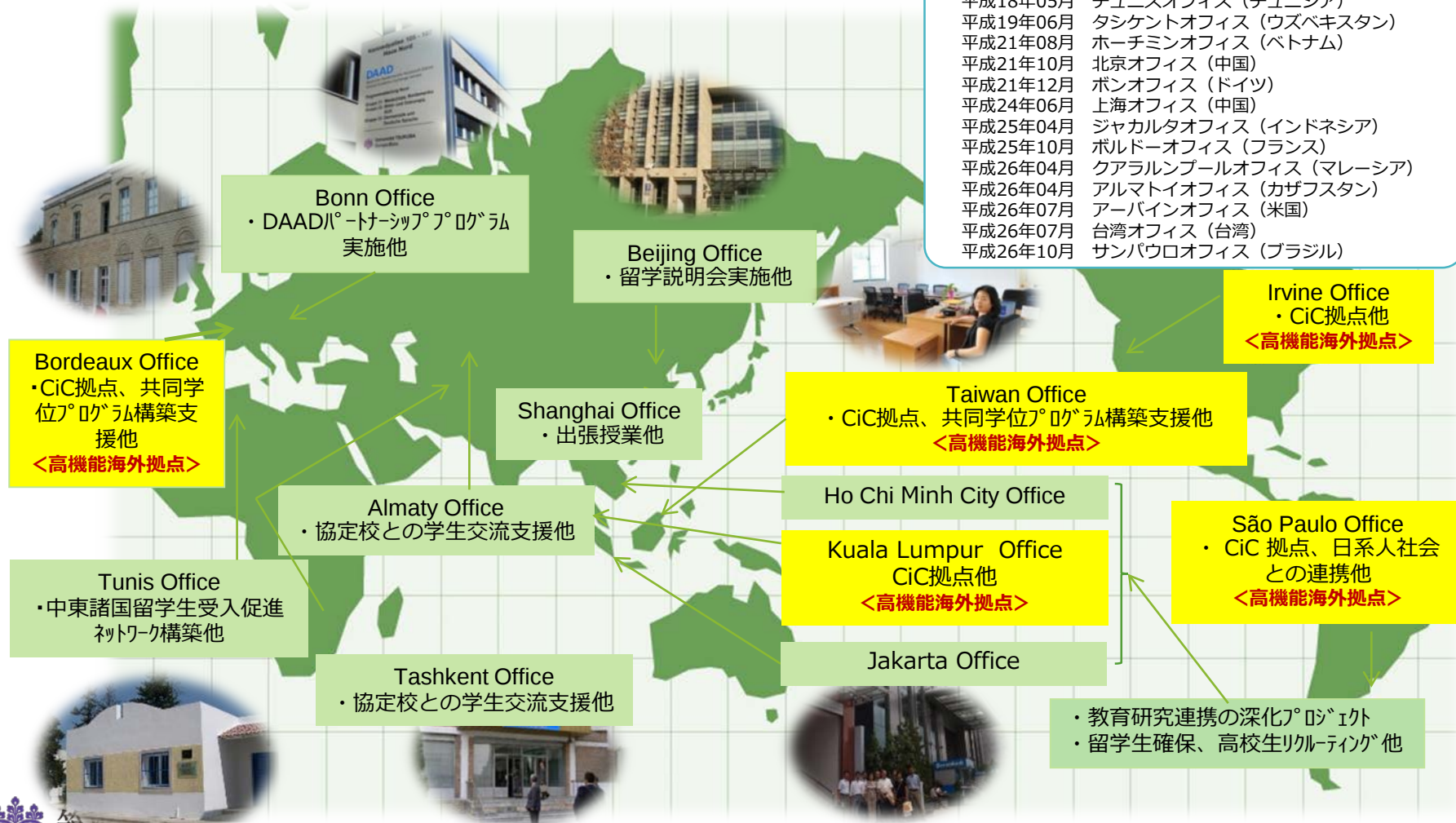


2. 本学におけるグローバル化の推進

- 「筑波大学海外拠点設置に関する基本方針」に基づき拠点を整備
海外拠点(12カ国・地域13か所)のうちCiCパートナー校内に設置する5拠点をCiC構想の戦略的機能を担う高機能海外拠点として体制を整備(P7参照)
- 海外大学等との交流と協定締結を推進
平成30年3月現在 68カ国・地域、363機関(大学間144、部局間212)
- キャンパス・イン・キャンパス(CiC)構想の推進
平成29年度に新たにグルノーブル大学連合及びユトレヒト大学の2校と協定を締結(CiCパートナー校7校(平成30年3月末))

筑波大学海外拠点（12か国・地域13拠点）

- ▶各拠点のミッションに基づき、優秀な留学生の確保、派遣学生の支援、関係大学・機関等との学術交流活動の促進・支援、同窓会ネットワーク構築等、様々な活動を展開
- ▶CiCパートナー校内に設置する5拠点をCiC構想の戦略的機能を担う「高機能海外拠点」として位置付け



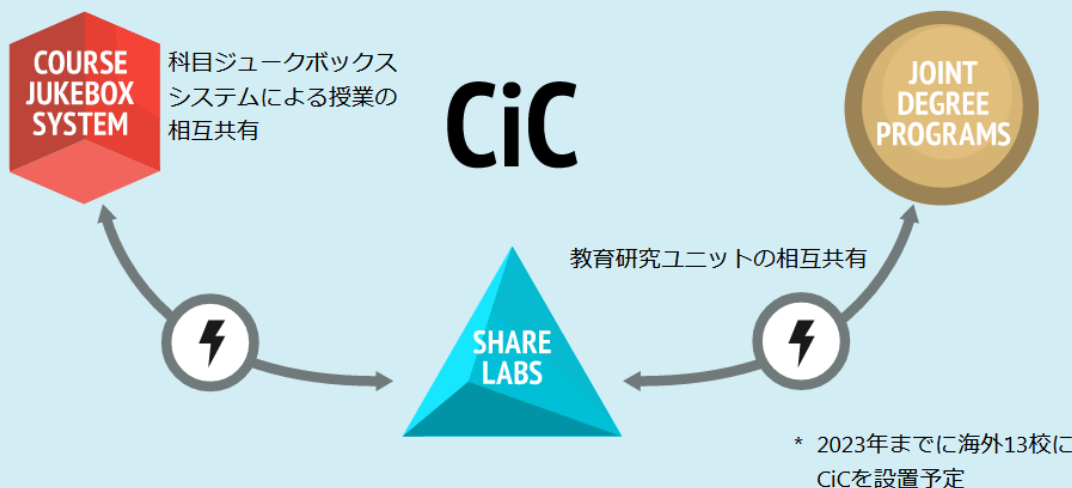


Campus-in-Campus

①取組概要

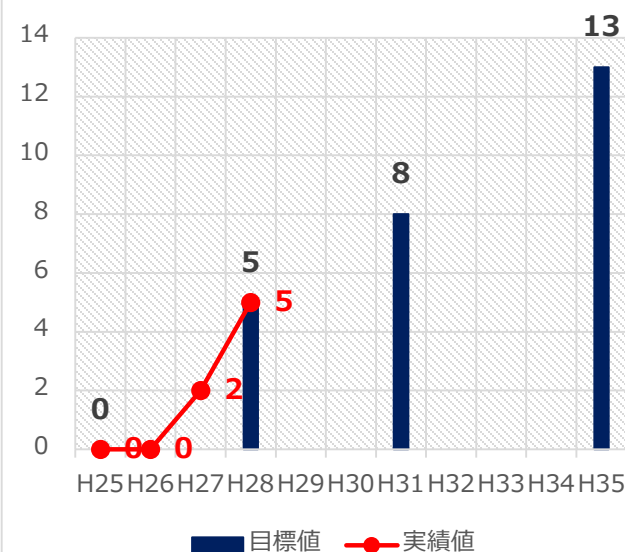
Campus-in-Campus

筑波大学と海外パートナー大学でキャンパス機能を相互に共有し、
学生や教職員・研究者が自由に教育研究交流できる環境を実現



②数値目標に対する進捗状況

Campus-in-Campus協定校の数



③Campus-in-Campus協定校一覧（H29年8月現在）



筑波大学
University of Tsukuba

ボルドー大学（H27～）

国立台湾大学（H27～）

サンパウロ大学（H28～）

マレーシア工科大学（H28～）

UCアーバイン（H28～）

※研究パートナー

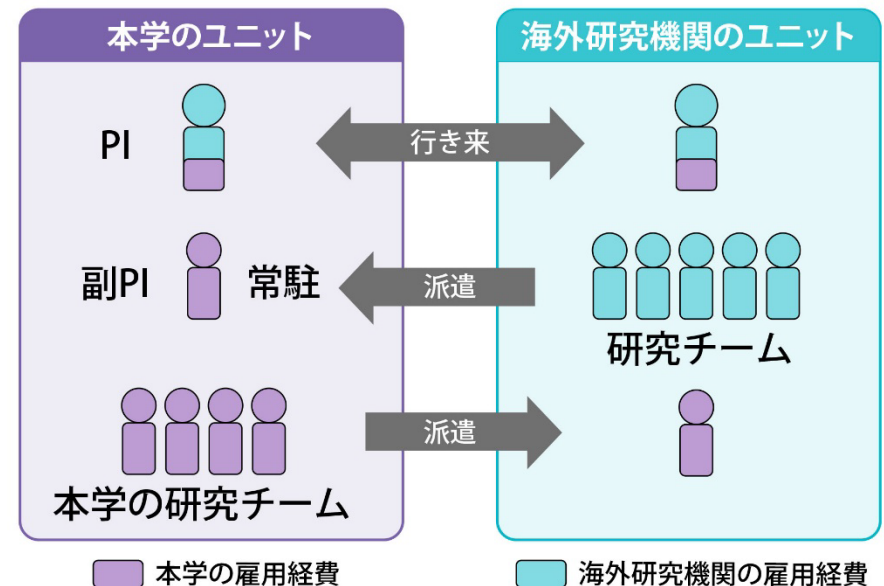


海外教育研究ユニット招致

海外著名研究者(PI)を本学と海外研究機関との間で
クロスアポイントメントにより雇用

PIは、本学に一定期間
滞在し、本学の教授として
研究室を運営

- 本学に常駐する副PIを
任期付き教員として雇用
- 本学の研究グループから
海外ラボへ研究者を派遣

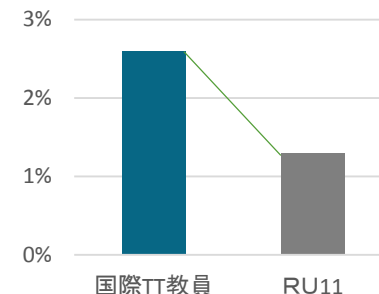
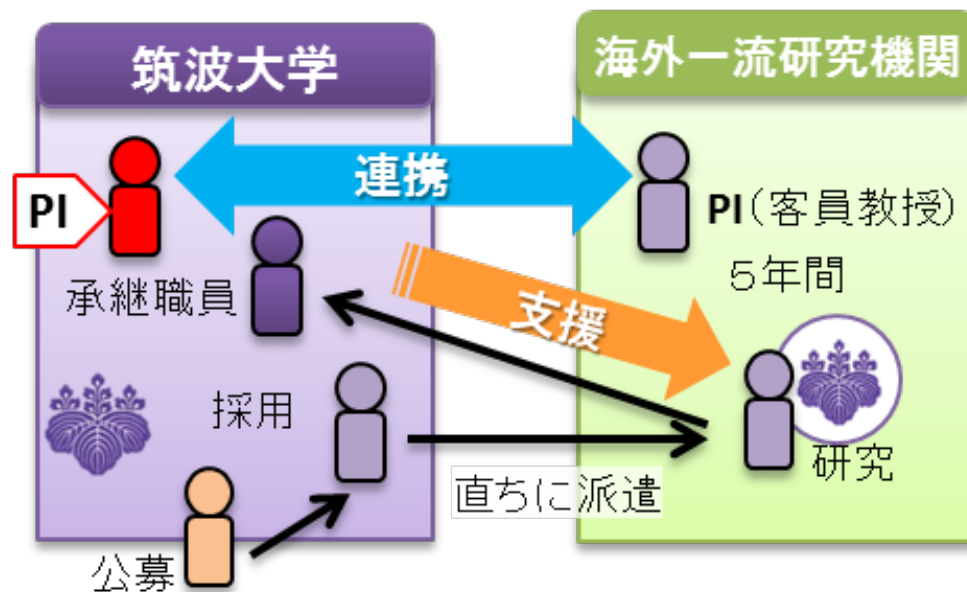


<ユニット招致事例>

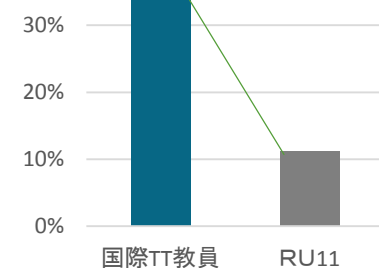
- 研究重点型: ハンブルグ大学、ライデン大学、オーフス大学、プリマス大学
- 教育重点型: グルノーブル大学
- キャンパス・イン・キャンパス型: カリフォルニア大学アーバイン校

国際テニュアトラック制度

- テニュアトラック期間中の2～4年間、世界の一流研究室において研究を実施。
- これまで23名の国際テニュアトラック助教を採用。
- 国際テニュアトラック教員による論文の質は、RU11全体と比較して格段に良い。



トップ1%論文



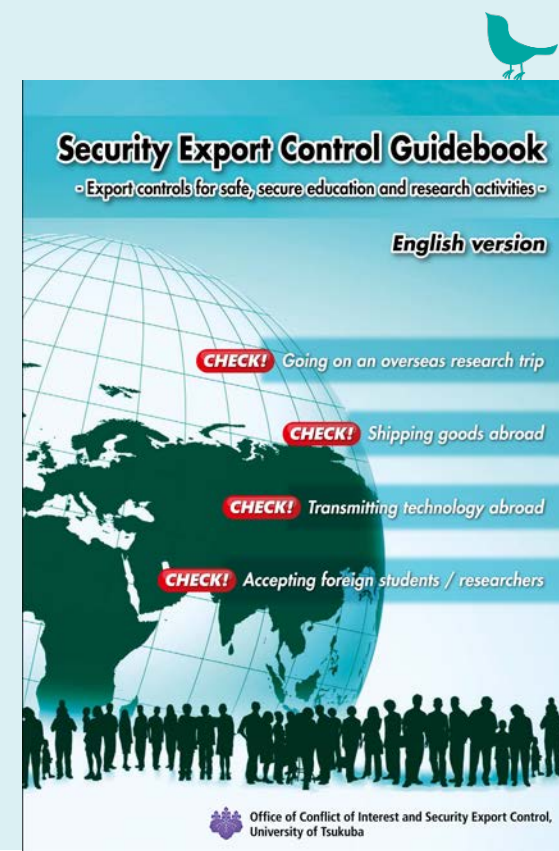
トップ10%論文

<派遣先研究機関>

スタンフォード大学、オックスフォード大学、プリンストン大学、欧州原子核研究機構 (CERN)、オハイオ州立大学、カリフォルニア大学サンフランシスコ校、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン、ロックフェラー大学、エディンバラ大学、チューリッヒ大学、ハイデルベルグ大学 など

主な外国人研究者向け支援

1. 若手・外国人対象科研費応募サポートデスク
2. 外国人向け科研費セミナー
3. 安全保障輸出管理ガイドブック及び
輸出管理システム(英文版)
4. キャリア相談・健康相談
(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリア
センター)





TSUKUBA CONFERENCE

For Future Shapers

October 2-4, 2019

Tsukuba International Congress Center, Japan

Keynote Topic: How science, technology and innovation can contribute to solving various social issues – in the context of Society 5.0 and SDGs

Expected keynote speakers

Representative of World Economic Forum

Representative of Bill & Melinda Gates Foundation

Nobel laureates

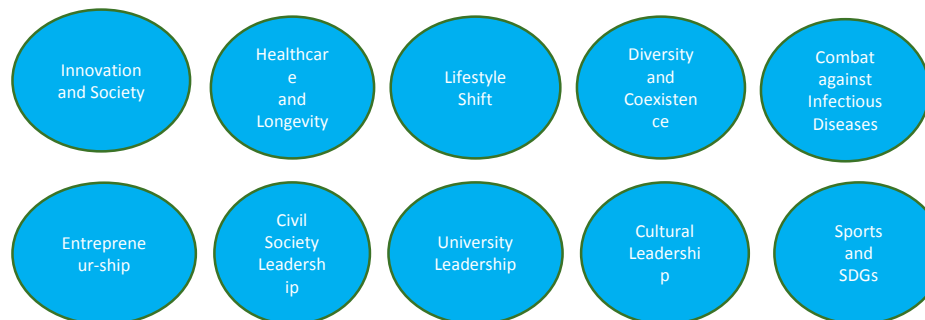
Presidents from world-renowned universities

etc.



Kyosuke Nagata
Chair, Tsukuba Conference
Organizing Council
President, University of Tsukuba

The Tsukuba Conference is an international conference organized by the Tsukuba Conference Organizing Council with the aim of bringing together young global leaders in diverse fields of science, technology and society from all over the world, beyond all borders, be it national, professional, disciplinary or institutional, facilitating the discussions and information sharing among them, and providing them with precious opportunities to express to the global society their visions for solving vital social issues.



The Tsukuba Conference Organizing Council

<Members>

Reiko Akiike, Senior Partner & Managing Director, The Boston Consulting Group (Japan)

Ryoji Chubachi, President of the National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

Ichiro Fujisaki, Former Japanese Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary to the US

Makoto Gonokami, President of the University of Tokyo

Teruo Kishi, Science and Technology Advisor to the Minister for Foreign Affairs

Yoshimitsu Kobayashi, Chairman of the Japan Association of Corporate Executives

Kiyoshi Kurokawa, Advisory Council to the Office of Healthcare Policy, Cabinet Secretariat

Hiroshi Matsumoto, President of RIKEN (Institute of Physical and Chemical Research)

Akio Mimura, Chairman of the Japan Chamber of Commerce & Industry

Kyosuke Nagata, President of the University of Tsukuba

Hiroaki Nakanishi, Chairman of KEIDANREN (Japan Business Federation)

Sadayuki Sakakibara, Honorary Chairman of KEIDANREN (Japan Business Federation)

Yoshiyuki Sankai, Representative Director, President and CEO of CYBERDYNE Inc.

Takeshi Uchiyama, Chairman of the Board of Directors of Toyota Motor Corporation, Member of the Council for Science, Technology and Innovation (CSTI) of the Government of Japan

<Advisors>

Leo Esaki, Nobel laureate in physics and former president of the University of Tsukuba

Koji Omi, Former Minister of Finance, Founder and Chairman of Science and Technology in Society Forum (STS Forum)



ご清聴ありがとうございました